



古都っ子だより

《心豊かにたくましく生きる児童の育成》元気な子 やさしい子 考える子

令和6年10月28日
岡山市立古都小学校



創立150周年記念式が終わりました

10月3日（木），古都小学校の学校創立150周年記念式を実施しました。当日は、連合町内会や本校の学校運営協議会委員の皆様、過去に古都小学校にお勤めになっていた先生と地域の方々の集まりである「ふるさと古都を語る会」の皆様、地域をあげて古都の子どもたちの育成に取り組んでおられる「古都の子どもを育てる会」の皆様、事前にお申し込みをいただいた保護者の皆様など多数のご参加をいただき、創立記念のお祝いをしました。



ご来賓の真鼻先生が、古都小の移り変わりや歴史について、カルタの絵を元に子どもたちに話してくださいました。

ご来賓としてご出席いただいた真鼻貴美子先生から、記念のご講話をいただきました。真鼻先生は今から25年ほど前、本校に教頭先生として勤務されていました。先生が勤務されていた頃は「地域の子どもたちは地域のみんなで育てよう」を合言葉に、「古都の子どもを育てる会」が結成され、地域や学校の有志が協力し合ってさまざまな活動に取り組んでおられたそうです。今も古都小に残る「古都ふるさとカルタ」も、「子どもたちに地域のことをもっと知ってもらおう」という多くの方の願いから制作されたと伺いました。ご講話の中で「古都小学校は長い歴史の中で名前を（古津小）→（古都小）と変えていったこと」「校地が移動していること」などを、分かりやすくお話ししていただきました。



寺尾様のお話

また、地域を代表いつも登下校見守りをしてくださっている「交通安全対策協議会」の寺尾様より、お祝いの言葉をいただきました。寺尾様は本校の卒業生で、古都っ子たちの毎日の安全を願って、見守り活動を続けてくださっています。「これからも安全に気をつけて元気に学校に来ましょう」と子どもたちへのエールを送っていました。



古都子ども未来宣言

式の最後に児童代表が「古都こども未来宣言」を発表しました。代表の6年生が立派な態度で自分の思いを発表する姿に拍手が湧きました。古都地区、岡山市、日本を支える人として、立派に成長してほしいと願っています。

式の後は、子どもたちが楽しみにしていた古都ふるさと全校カルタ大会を行いました。低、中、高学年別に分かれ、学年を越えてカルタ遊びをしました。お忙しい中、保護者ボランティアや「古都の子どもを育てる会」の方々など総勢13名もの皆様が運営にご協力ください、白熱したカルタ取りになりました。教室で練習した成果を発揮し、読み札を読んだ瞬間にはあっという間に札が取られました。勝負事は勝ち負けがつきものですが、ルールを守って楽しく遊ぶことができました。上位入賞者には、PTAからの賞状が出されました。

【裏面へ続く】